

競技注意事項

第67回北信地区陸上競技選手権大会 2025/8/30・31

1. 競技規則

本大会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。

なお、TR4.4（参加の拒否）、TR8.4/8.5（現場での抗議）は適用しない。

競技用シューズ（TR5.2）については、2024.11.1からの競技用靴の扱いについて（2024年度競技規則修改正）を適用する。但し小学生については、適用しない。

2. 競技者案内所（TIC）

競技者案内所（TIC）を競技場正面入口1階ロビーに置き、次の業務を行う。

(1) 各種問い合わせ、審判長への抗議・上訴の受付、落とし物の取り扱いなど。

(2) プログラム販売（1冊500円）。

3. 競技者受付

(1) 競技者受付は1日目：8時／2日目：7時45分からTICにて行う。

(2) 受付の際には、各団体（各一般高中小）／1冊のプログラムと一般競技者個人にはアスリートビブスを配布する。

(3) プログラムの記載ミス（氏名、フリガナ、学年、所属等）については、大会プログラム記載事項訂正申請書プログラム訂正用紙をTICへ提出する。

4. 招集

(1) 本競技会では、招集はトレーニングルーム北側に設けた選手招集所で行う。

(2) 各種目の招集開始および完了時刻は、プログラム競技日程記載のとおりとする。

(3) 競技場所への入場は第4ゲート（100mスタート地点後方）のみとする。

(4) 選手招集の際、係員により、アスリートビブスががついていることを確認した上で、競技注意事項6(4)②に該当する持ち物等のチェックを行う。また、レーンで行わないトラック競技の腰ナンバー標識、中学男子3000m・男子5000m以上のトラック競技の胸ナンバー標識の配布を行う。

(5) 代理人による招集は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集時に招集所備え付けの「2種目同時出場届」を競技者係に提出すること。届け出が完了すれば、第2種目の招集を事前に受けることができる。

(6) 欠場する場合は、本人または代理人が必ず競技者係に申し出ること。招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技を棄権したものとみなす。

(7) 競技場内への入退場は、すべて競技役員（競技者係・マーシャル等）の指示・誘導によって行う。また、出場する選手以外は競技場内に入らないこと。

(8) 小学生は、招集完了後スタート地点に移動をしてください。競技者・出発係補助員が誘導する。荷物については、付添者が預かり観覧席・芝スタンドへ移動すること。

5. アスリートビブス

(1) アスリートビブスは、一般・大学生・小学生の競技者は、主催者が用意したものを、高校生・中学生は高体連・中体連のビブスをそのままの大きさと、胸・背部に固定すること。ただし、跳躍種目の競技者については、どちらか一方でよい。（TR5.7／5.8／5.9）

(2) トラック競技者（オープンレーンに限る）は、腰ナンバー標識をパンツ右側の上部やや後ろにつけること。このカードは競技者係（入場ゲート）で受け取り、フィニッシュ後は返却する必要はない。さらに中学男子3000m・男子5000mの競技者は、胸と背にレーンナンバー標識をつけること。ナンバー標識を受け取っただけでは、招集完了とならないので注意すること。

6. 競技方法

(1) トラック競技

① 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。

② リレーオーダー用紙は、選手受付時にTICで配布する。オーダー用紙は招集完了の1時間前までに選手招集所の競技者係に提出すること。

③ リレー競走の競技者は、大きさが最大50mm×400mmの粘着テープ（マーカー）を1箇所、自身のレーン内に貼ることができる。マーカーは競技者が用意する。次走者のつけたマーカーは、走り終わった前走者が必ずはがすこと。

④ 直線で行う競技については、バックストレート側の走路を使用する場合もある。バックストレート側走路を使用する場合は、競技30分前までにアナウンスで告知する。

- ⑤小学生リレーのスタートコールについては「On Your Marks(オン・ユア・マークス)」、「Set(セット)」とする。また、小学生の不正スタートについては、同じ選手が2回不正スタートを行った場合に失格とするルールを適用する。

(2) フィールド競技

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ②跳躍種目及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意した規定のマーカを2個まで置くことができる。ただし、走高跳は競技者が準備したマーカを助走路内に置くこととする。
- ③砲丸投・円盤投・ハンマー投についてはサークル直後あるいはサークルに接して、主催者が用意したマーカを1つだけ置くことができる。これらのその撤去は使用した競技者が責任をもって行うこと。
- ④投てき種目の練習投てきは、引率者や付き添いを同伴した上、投てき練習場（アクアウイング隣の運動広場）で練習することができる。砲丸投については補助競技場においても行うことができる。練習投てきの際は安全に配慮して行い、引率者や付添者がいない練習はできない。
- ⑤走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の1人となるまでは以下のとおりとする。ただし、天候等の状況により練習の高さを含め変更することもある。
- ⑥フィールド種目については、走高跳・棒高跳を除き、3回の試技の後トップ8を決め3回の試技を行う。
- ⑦フィールドにおいて試技を命ぜられてから、次の時間は通常の場合超えてはなりません。
- 残っている

残っている 競技者数	単独競技		
	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技	2分	3分	2分

- ⑧跳躍競技のバーの上げ方は、競技レベル・コンディション等を勘案し審判長が指示する。
- ⑨三段跳の踏切板の位置は、男子11m、女子8mとする。ただし、参加選手の状況によっては変更することもある。（男子で15m以上の選手、女子で11m以上の選手が出場する場合は、男子12m、女子9m）

7. 表彰

表彰式は行いませんので、競技終了後アナウンスの発表を聞き、速やかに賞状配布所まで賞状を受取に来ること。

（一般・高校生）各種目の優勝者に選手権章（メダル）を、1～8位の入賞者には賞状を授与する。

（中学生・小学生）各種目の1～3位にメダルを、1～8位の入賞者には賞状を授与する。

8. その他

- (1)スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳・やり投は12mm以内とする。
- (2)集団での応援は、芝生スタンドの競技運営に支障のない場所で行う。
- (3)スタンドからの撮影は、その選手の関係者のみ許可し、それ以外の撮影は認めない。望遠レンズ付きカメラでの撮影を認めない。また、撮影禁止エリア（ホームストレートスタート後方及びゴール前方）での撮影は一切できない。
- (4)選手以外の雨天走路への入場は、混雑が予想されるので、認めない。
- (5)競技結果は、競技場入口掲示板に表示する。
- (6)救護室は競技中の負傷・疾病に対しての応急処置を行うものとする。
- (7)地震、台風、雷、荒天や猛暑＜暑さ指数(WBGT)が31度以上の場合、大会を一時中断・延期・または中止することがある。また競技順を入れ替える場合もある。
- (8)すべてのごみは、各自持帰ること